

# 神奈川県の学童保育

## 新制度の主旨を生かし市町村の申請額増加を

—国の平成29年度予算・実施要綱が発出される—

平成29年度の放課後児童クラブに対する国の補助金予算と事業実施要綱が発出されました。事業費は放課後児童クラブ関係総額で725.3億円(28年度 574.8億円)、受け入れ児童数の拡大で昨年比3.9万人増を見込んでいます。

当初平成31年で122万人の受け皿確保(30万人増)の計画(「量の見込み」)でしたが、「ニッポン一億総活躍プラン」(平成28年6月2日閣議決定)を踏まえ、1年前倒しで平成30年に30万人増を実現するとのこと。そのため、国施設整備費の国庫補助率嵩上げ(国2/3、県1/6、市町村1/6:公立の場合)は昨年に引き続き実施され、箇所数増での市町村の負担軽減を図る考えです。

また、運営費補助基準額(支援の単位)は、児童数40人の場合、年額430.6万円で昨年比56.2万円増となりました。

また、ほかに主なものとしては、支援員の経験等に応じた処遇改善が新規で設けられました。経験年数に応じて、1万円、2万円、3万円の月額賃金改善費、障害児5人以上の受け入れ要件を3人以上に拡充、等があります。150万円、290万円の放課後児童支援員処遇改善事業も引き続き実施されます。

詳しくは全国連協運営委員会ニュースNo.6を参照してください。

尚、国は平成29年度から放課後児童クラブ運営費基準額の見直しとして、放課後児童クラブの安定的運営や必要な職員の確保という観点から、積算上の職員の人件費の考え方をこれまで日額単価(最低賃金)を用いて算出していた職員(年額約150万円)3人のうち、1人分について月額単価(福祉職俸給表1-6)(年額約310万円)を用いて算出、との考え方を示しています。この考えに基づき、指導員の処遇改善が大幅に進むよう、市町村に理解を求めることが大切です。

このように新しい制度が始まり、国は一定の補助金予算増額を図っています。制度の主旨を生かし、市町村から学童保育の抜本的な改善が進むような申請(国基準満額に近づける)がされるよう、働きかけて行きましょう。

「日本の学童ほいく」巻末に「協議会だより」というコーナーがありますが、5月号では「2017年度予算案の新規・拡充事項」について、また6月号では「放課後児童健全育成事業実施要綱発出」について記載されています。ぜひ併せてお読みください。



## 2017年夏の文化事業

県連協では、2017年度より夏の文化事業に取り組むことになりました。各学童保育での夏休みの行事の一環として活動計画に入れていただければ幸いです。詳細は6月中にチラシ等でご案内します。

今年の夏は…

- ◆ 作品…「かいけつゾロリ」など子ども向けアニメ映画の上映
- ◆ 会場と日程（予定）
  - ☺ 大和市…8月1日(火)・保健福祉センター（小田急江ノ島線「鶴間駅」下車徒歩5分）
  - ☺ 綾瀬市…8月2日(水)・文化会館小ホール（海老名駅・さがみ野駅・長後駅からバス約20分）
  - ☺ 平塚市…8/22(火)・勤労福祉会館（平塚駅より徒歩15分）
- ◆ 料金…子ども一人700円、大人も同額  
ただし、大人（引率者）子ども20人まで2名無料、10名増えるごとに1名無料
- ◆ お申込・お問合せ  
神奈川県学童保育連絡協議会（TEL：045-662-9647）

## 私のおすすめ『日本の学童ほいく』

毎月の運営委員会では、「私のおすすめ『日本の学童ほいく』」を地域持ち回りでご紹介いただいています。

5月運営委員会では、特集「たしかめあおう 学童保育指導員の仕事」から、横須賀市岩戸・大矢部学童クラブ指導員 飛鳥井祐貴さんのおすすめです!!

『これからも、私たち保護者に子どもの姿をしっかりと伝え続けてほしい』

2017年5月号「たしかめあおう 学童保育指導員の仕事」特集ページ（P24）に、私が勤める学童クラブの保護者の方が『指導員の心配りで「お互いの顔が見える関係」になるまでの話』というタイトルで記事を寄せてくれました。日頃、お迎え等で話す機会も多いお父さんなのですが、こうして文章にして頂いたことで、気づかされることも多くありました。改めて私たちは「学童クラブで生活する子どもの様子を伝える」ことを仕事の根幹に置かなければと、身が引き締まる思いです。

保護者と指導員の信頼関係は、こうした伝えあいの中で育まれていくのだと感じるとともに、保護者同士をつなげていく上でも子どもの姿を伝えながら働きかけていく事が大事だと気付かされました

2017年5月号に掲載されている神奈川からの投稿を紹介します。

☆グラビア 横浜市こどもの国学童クラブ

☆特集 横須賀市岩戸大矢部学童クラブ保護者 野村 亮さん

☆子どものひろば 平塚市 ゆうかちゃん（1年生）

横須賀市 ななちゃん（2年生）

☆読者のひろば 横須賀市指導員 藤本ちどりさん



## 第53回全国研 in 神奈川(2018年秋)開催に向けて…①

## 第45回全国合宿研究会 in 兵庫

2017年11月4日(土)～5日(日)、第52回全国学童保育研究集会(全国研)が兵庫県で開催されます。そして、翌年の2018年(平成30年)秋に開催する「第53回全国研」を、神奈川県で開催することになりました。その開催に向け、準備他シリーズでお伝えしていきます。

さて、全国研の開催は秋ですが、それに先立ち毎年5月に全国研の開催地で「全国合宿研究会(以降、(合宿研))」が開催されています。今年の合宿研は5月13日(土)～14日(日)に兵庫県神戸市の「神戸コンベンションセンター 神戸国際会議場」にて開催されました。学童保育をめぐるさまざまな課題のなかで、とりわけ重要な課題について研究・学習するために、全国連協が毎年開催しているものですが、今回は『子どもにとって』という視点で考える『集団の規模』の実現というテーマで話し合われました。

「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」が省令で出され、集団の規模が概ね40人とされていますが、まだまだ大規模の学童保育の中で保育をされている実態が多数報告され、子どもの安心・安全な生活を守るためにどうしたら集団の規模を守ることができるのかなど意見を出し合いました。

ところで、前回全国研を神奈川県で開催した2005年の合宿研は、横浜市鶴見区で行われ、テーマは「どのように適正規模の学童保育を複数設置させるか」でした。学童保育を必要とする家庭・子どもの数はますます増え続けていますが、全国的にも、県内にも、まだまだ大規模の学童保育が多く存在しているのです。

～ 物品販売のお知らせ ～

## 小豆島の高級手延素麺販売のご案内

暑い夏、美味しい素麺はいかがですか？

時間がたっても伸びにくい小豆島の手延素麺は、学童保育のおやつにもピッタリです！

もちろん、ご家庭でのお食事にも！！

化粧箱入りなので、お使い物にもご利用いただけます。

販売価格…1500円/箱(50g×30束入り)

1箱(14箱入り)でお申込みいただくと、製麺所から直送されます。(送料無料)

お申込み・お問合せ…神奈川県学童保育連絡協議会

TEL 045-662-9647



## 【編集後記】

保育園の定員問題に関わって新たな提案がされた。

最終的には30万の定員増。当然学童への入所希望者も増える。神奈川では待機児童が潜在化している。

学童保育の施設・定員増は喫緊の課題。県連協の果たす役割を再確認の時。25日は総会、各地域からの参加で意義あるものに。

## 活動報告(4月～5月の主な活動報告)

4月6日(木) 県連協4月度運営委員会

4月8日(土)～9日(日) 全国運営委員会

4月21日(金) 県連協4月度役員会

5月11日(木) 県連協5月度運営委員会

5月13日(土)～14日(日) 第45回全国合宿研

5月18日(木) 県民連絡会総会

5月24日(水) 第46回指導員交流会

## ♪ 地域連協だより ♪

### 秦野市連協だより

秦野市学童保育連絡協議会を発足し第3回の総会を5月19日に行いました。

内容は前年度のイベントの内容と反省から始まり、待機児童や市の児童ホームを利用できないで困っているという保護者からの相談などについての共有、他市の補助金交付要綱を参考に、秦野市に無い補助金を今後どうしたら出してもらえるかについて等話し合いました。

私が運営している「学童保育でんでん」では、昨年よりウサギを飼い始め、日々の生活で餌やりや掃除を通じて、命の大切さや仲間たちとの協力を学べていると思います。一日にお手伝いできる人数を決めていてお掃除の後はお褒美のガチャポンが1回できます。ガチャポンの入れ替えも子どもたちが皆で協力し合ってやっています。



毎年4月から6月まで、地域連協の総会が多く行われます。前年度の活動報告、今年度の活動方針等話し合われる総会ですが、雰囲気様々で、連協カラーを感じます。

さて、県連協の総会は6月25日(日)に開催です。

### 逗子市連協だより

逗子市学童保育連絡協議会は、4月22日(土)に第40回の定期総会を迎えることができました。

40年前に学童保育を必要とする保護者達が自ら作ってきた学童保育が、市の事業に位置付けられ、市が建てた施設で、市が決めた(国の基準より高い)指導員の配置基準に従って6年生までの小学生が学童保育に通うことができるようになったことに、40年の重みを感じています。保育料も市が決めており、11段階となっています。

環境が整ったこともあり、学童保育を必要とする家庭、学童保育を利用したい家庭はますます増加し、2016年度には18人の待機児童が発生しました。それを受けて市は2017年度の緊急対策として「夕方型」で対応をすることになりました。いくつかの課題が報告され、子どもの生活の場としての学童保育について考え合う機会となりました。

来月の「地域連協だより」では横浜市を予定しています。お楽しみに！

## <これからの予定>

- 6月4日(日) 第42回全国学童保育指導員学校(大東文化大学板橋キャンパス)
  - 6月25日(日) 第42回神奈川県学童保育連絡協議会定期総会(横浜市開港記念会館)
  - 9月10日(日) 秋の学習会(大和市渋谷学習センター)
  - 11月4日(土)～5日(日) 第52回全国学童保育研究集会 in 兵庫
  - 2018年2月末(日) 第41回神奈川県学童保育研究集会(会場未定)
- \*その他、運営委員会は毎月第1木曜日、役員会は第3金曜日に開催。